

福岡市消費生活審議会（第32回）

議 事 資 料

- 資料1 福岡市消費生活審議会委員名簿
- 資料2 第2次福岡市消費者教育推進計画の進捗状況について
- 資料3 令和3年度事業概要
- 資料4 『消費者被害防止テーマソング・ダンス』の作成について
(記者発表資料)

福岡市消費生活審議会委員名簿

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

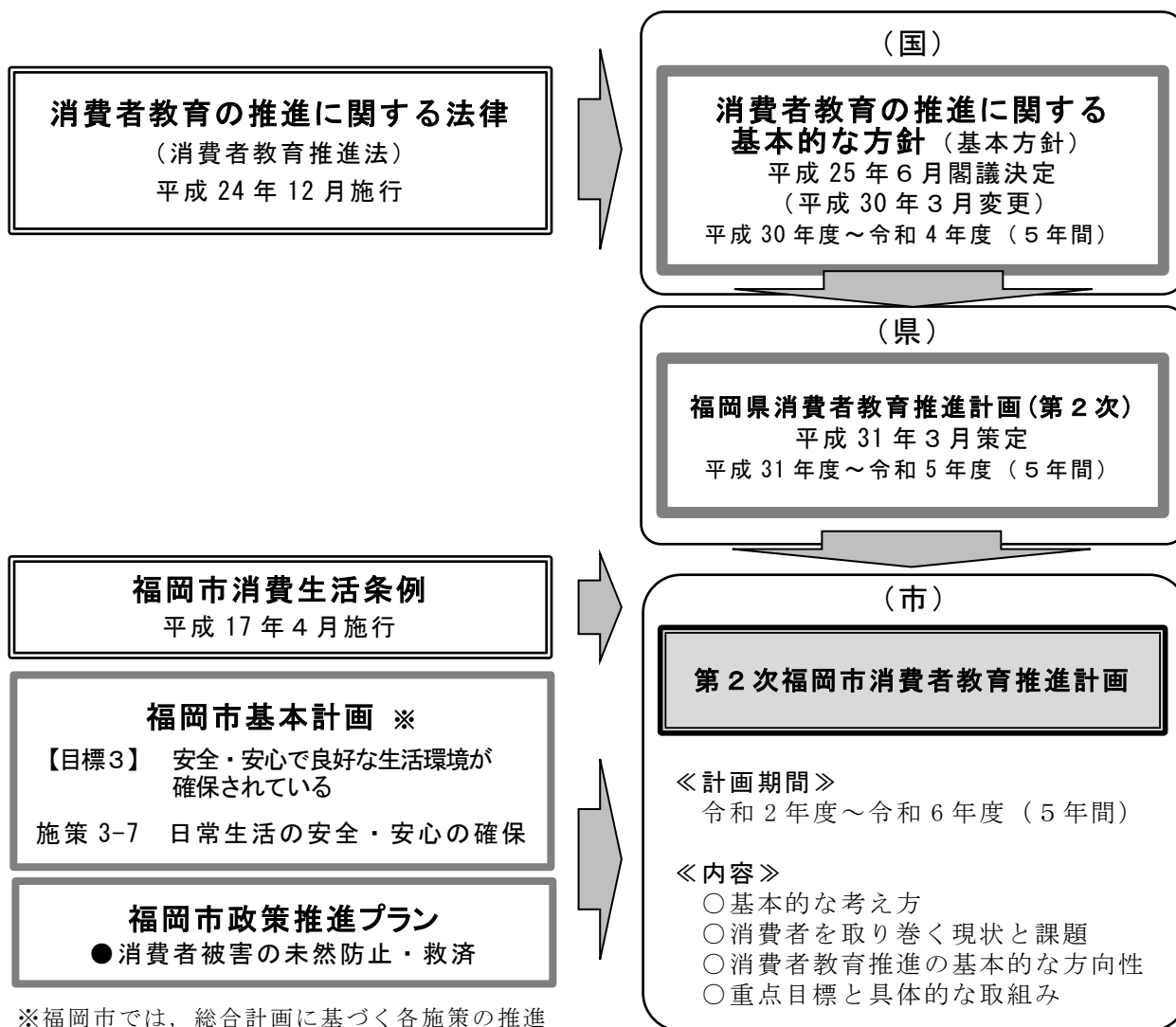
区分	氏名	所属団体・役職
学識経験のある者	おくたに 奥谷 めぐみ	福岡教育大学教育学部 准教授
	とくもと みのる 徳本 穰	九州大学大学院法学研究院 教授
	ほしの けい 星野 圭	福岡県弁護士会
消費生活 専門分野	い で りゆうこ 井出 龍子	公益社団法人 全国消費生活相談員協会 九州支部
	はやし まみ 林 真実	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 理事・九州支部長
消費者	かわぞえ ひろみ 川添 浩美	福岡市PTA協議会 副会長
	くりた ともこ 栗田 知子	福岡市南第11地域包括支援センター 管理者
	なかしま あきひろ 中島 章博	公募委員
	ふるかわ かずよし 古川 和良	福岡市民生委員児童委員協議会 副会長
	まつなが マツエ 松永 マツエ	福岡市自治協議会等7区会長会 代表 早良区自治協議会会長会 会長
	みやもと なおつぐ 宮本 直嗣	特定非営利活動法人ゆめふうせん 理事
事業者	ひらい なおみ 平井 尚美	消費者窓口連絡会 会長
	まつふじ やすひろ 松藤 泰大	福岡県生活協同組合連合会 副会長理事
	みずたけ ひろし 水竹 浩	公益社団法人 消費者関連専門家会議 西日本支部九州地区部会 正会員

(敬称略、区内五十音順)

福岡市消費者教育推進計画の進捗状況について

1 推進計画の位置づけ

この推進計画は、国の基本方針及び「福岡県消費者教育推進計画」を踏まえ、福岡市における消費者教育の推進に関する施策についての計画を定めるもの。



※福岡市では、総合計画に基づく各施策の推進により、SDGsの実現に取り組んでいます。

関係法令

消費者教育の推進に関する法律 (抜粋)

(基本方針)

第 9 条 政府は、消費者教育の推進に関する基本的な方針を定めなければならない。

(都道府県消費者教育推進計画等)

第 10 条 都道府県は、基本方針を踏まえ、その都道府県の区域における消費者教育の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めなければならない。

2 市町村は、基本方針(都道府県消費者教育推進計画が定められているときは、基本方針及び都道府県消費者教育推進計画)を踏まえ、その市町村の区域における消費者教

育の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めなければならない。

福岡市消費生活条例 (抄)

(学習条件の整備及び消費者教育の推進等)

第 8 条 市は、消費者の消費生活に関する自発的な学習を支援するために必要な条件の整備に努めなければならない。

2 市は、消費者が主体的かつ合理的な消費生活を営むために必要な教育の推進及び知識の普及に努めなければならない。

2 第2次推進計画の成果指標

指標の内容	年	現状値	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	目標値
		平成30年 (2018年)			令和6年 (2024年)
商品やサービスの購入時に日頃からトラブル回避を心がけている市民の割合(注1)		80.1%	80.4%	82.0%	90.0%
消費生活センターの認知度 新規 (注2)		80.5%	68.6%	72.4%	85.0%

出典 (注1)：福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」

(注2)：市長室「市政アンケート」

3 第2次推進計画の重点目標と取組の方向性

重点目標1	児童・生徒及び若年者に対する消費者教育の推進
	①学校(小・中・高等学校・特別支援学校)での取組の推進
	②成年年齢引下げを踏まえた若年者に対する消費者教育の強化
重点目標2	高齢者・障がいのある人等に対する消費者教育の推進と見守りの強化
	①高齢者・障がいのある人等に対する消費者教育の推進
	②高齢者・障がいのある人等を支援する人等との連携の強化
重点目標3	高度情報通信社会に対応した消費者教育の推進
	①高度情報通信社会に対応した消費者教育の推進
重点目標4	消費者教育に携わる担い手の育成
	①学校における人材育成
	②地域等における担い手育成

4 第2次推進計画の重点目標ごとの取組項目

重点目標	取組目標	測定	現状値 平成30年度	令和 元年度	令和 2年度	目標値 (令和6年度)
重点目標1 児童・生徒及び若年者に対する消費者教育の推進	児童・生徒及び若年者対象の消費者講座の実施回数	◇消費生活センターの事業実績	73回/年	53回/年	34回/年	120回/年
重点目標2 高齢者・障がいのある人等に対する消費者教育の推進と見守りの強化	消費生活サポーターを有する校区・地区数	◇消費生活センターの事業実績	108校(地)区	107校(地)区	111校(地)区	150校(地)区
	消費生活事業者サポーターの登録数	◇消費生活センターの事業実績	16事業者	23事業者	24事業者	40事業者
	障がいのある人や支援者などを対象とする講座の実施回数	◇消費生活センターの事業実績	5回/年	1回/年	3回/年	10回/年
重点目標3 高度情報通信社会に対応した消費者教育の推進	インターネットトラブル防止に関する消費者講座の実施回数	◇消費生活センターによる各局調査の実績合計	3回/年	11回/年	6回/年	30回/年
	通信販売にクーリングオフ制度がないことの認知度	◇市政アンケート「通信販売には、法律上クーリングオフ制度がないことを知っている人」の割合	46.7%	54.7%	47.3%	60.0%
重点目標4 消費者教育に携わる担い手の育成	〈再掲〉消費生活サポーターを有する校区・地区数	◇消費生活センターの事業実績	108校(地)区	107校(地)区	111校(地)区	150校(地)区
	〈再掲〉消費生活事業者サポーターの登録数	◇消費生活センターの事業実績	16事業者	23事業者	24事業者	40事業者



令和3年4月30日

市政記者各位

『消費者被害防止テーマソング・ダンス』を作成しました

近年、消費者被害が多様化、複雑化する中、高齢者の被害や、令和4年の成年年齢引下げによる若年者の被害増加を防止することが課題となっています。

そのため、福岡市消費生活センターにおいては、消費者被害防止への意識を向上させ、学校、地域団体、各種団体への消費者教育を推進するために、若年者と共働で消費者被害防止テーマソング及びダンスを下記のとおり作成しました。

つきましては、市民の皆様への広報についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1 内容

《消費者被害防止テーマソング》

曲名 『もうこれっきりん』
作詞・作曲者 藤本成史(チキンナゲッツ)
歌唱 チキンナゲッツ

《テーマソングに合わせたダンス》

ダンス作成 福岡工業大学附属城東高等学校 ダンス部

《DVDジャケットデザイン》

デザイン制作 九州産業大学芸術学部ソーシャルデザイン学科

2 具体的な活用内容

消費生活センターを周知するとともに、幼児から高齢者まで、楽曲・ダンスを通して消費者被害防止を喚起する。

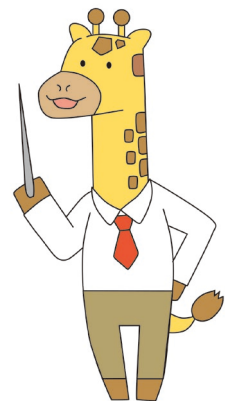
- (1) 市内の全市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校へ楽曲及びダンス動画のDVDを配付し、授業等で活用
- (2) 消費者月間等の本庁舎多目的スペースでのパネル展示の際にDVD放映
- (3) 出前講座で活用

3 消費者月間パネル展示におけるダンス動画放映

5月7日(金)～5月13日(木)

市役所1階多目的スペースにおいて消費者月間パネル展示を実施併せて同会場でダンス動画放映

【本件に関するお問い合わせ先】
福岡市市民局生活安全部
消費生活センター
担当 萩尾 財津
TEL 092-712-2929



消費生活センター啓発キャラクター
これっきりん先生